

地銀協レポート

vol. 17

2025.6.18

こんなことまで！？地方銀行

若手人材育成



私たち、地域の「銀行」なんですけど、最近、こんなことまでやってます！・・・	1
若手人財の原石を磨き、光り輝く地方銀行員へ・・・	4
行こか！大阪・関西万博～地方銀行が世界に魅せるミライ～・・・	9
協会ニュース・・・	11
— 2025年度の役員改選を行いました	
— 地方銀行で働くリアル、気になりますか？	
— 「株式会社生活基盤プラットフォーム」を設立しました	
— 「地方銀行における環境・気候変動問題への取り組み」を公表しました	
統計グラフ・・・	14
地方銀行のNISA取扱状況は、口座数・買付額共に増加しています	



Cover photo — No.008

TDテラス宇都宮 (東邦銀行 宇都宮支店)

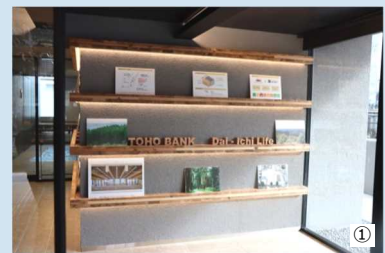
栃木県宇都宮市泉町 1 - 2 9

木の柔らかい雰囲気包まれ、なんだか温かい気持ちになる。そんな建物が、「TDテラス宇都宮」です。2022年9月に完成した地上4階建てのビルには、1階に東邦銀行 宇都宮支店、2～4階に第一生命 栃木支社が入居しています。生命保険・銀行業界では国内初となる、中層木造オフィスです。

このTDテラス宇都宮では、柱や梁など建物の骨組みに、東邦銀行が本店を置く福島県で育ったカラマツ、床や壁などの内装に、栃木県産のスギと、“地元の木”がふんだんに使われています。さらに、木材の製材・加工工程の大半を福島県内の工場で担い、建物の組み立ては栃木県の職人が施すなど、いわば地域の力を集結して完成させた建物となっています。

さらに、木造としたことで、環境への配慮も実現。木材は、金属やコンクリートなどに比べて加工に必要なエネルギーが非常に小さく、CO₂の排出が抑えられます。また、木は光合成によって大気中のCO₂を吸収していますが、実は、木材に加工された後も、CO₂は木の中に固定され続けるのだそうです。1本の木が吸収できるCO₂の量は成長とともに減ってしまうため、成熟した木を伐採して積極的に木材として活用し、かわりに新たな木を植えて循環させることで、効率的なCO₂減少にも繋がります。

東邦銀行は、地元福島県と栃木県の木を最大限に生かしたTDテラス宇都宮を通じ、四半世紀にわたり店舗を構えたこの地の地域経済にこれからも貢献していくことを目指して、訪れる人や働く人にとって心地よいだけでなく、地域にも、そして地球にもやさしい建物となるよう追求したのです。



①建物のエントランス。木のぬくもりに柔らかな光が相まって、温かい雰囲気を演出しています。②銀行店舗内も、ふんだんに木材が使われています。③建築過程で出た木の端材を有効活用した階数表示サイン。廃棄物を資材として再利用して循環させる「サーキュラーエコノミー」の考えが取り入れられています。端材は手すりの一部にも用いられました。